

福島のぶゆき国会日誌

【委員会】

●国土交通委員会にて、今国会初めての質疑を行いました！

21日、この国会初めての質疑を、国土交通委員会で金子恭之国土交通大臣に行いました。

国土交通省が誕生してまもなく満25年。この間、16年9ヶ月の大部分の期間を公明党の議員が大臣を務め、自民党の大半はわずか2年2ヶ月。現職の自民党国會議員には国土交通大臣経験者はいません。こうした状況を受け、国土交通省が真に与えられた任務を果たしているのか、という点について議論いたしました。

質疑の模様はYouTubeからご覧ください。



是非
ご覧ください



【選挙制度】

●衆議院選挙制度に関する協議会で自由討論を行いました！



18日、衆議院議長の下の正式な機関である衆議院選挙制度に関する協議会が開かれました。

私が冒頭、私が幹事長を務める超党派の選挙制度抜本改革議連で11/6に行った、「衆議院定数のあり方は衆議院選挙制度のあり方と一緒に本協議会で協議して結論を得るべき」との衆議院正副議長への申入れについて説明いたしました。その後、各党会派の自由討論となり、定数削減についての連立政権合意書を結んだ自民党、日本維新の会を含めて、衆議院定数の問題は選挙制度の議論と一緒に協議会の場において行うことで大筋一致いたしました。

●超党派の選挙制度抜本改革議連を開催しました！

19日、超党派の選挙制度抜本改革議連を開き、中北浩爾中央大学教授をお招きして「日本政治と選挙制度」についてご講演いただきました。政権交代可能な2ブロック型の民主主義を目指して平成の政治改革で導入した小選挙区比例代表並立の選挙制度が、今や弊害の方が大きく、理論上は中選挙区比例代表制が選挙制度の最適点であることをお示しいただきました。



●選挙制度抜本改革議連の役員会で今後の方針を確認しました！



21日、超党派選挙制度抜本改革議連では、自民党と維新の定数削減法案の協議などの情勢変化を受けて今後の進め方について役員で協議。同じ志を持つ議連の役員で話していると、政党同士では立場が違っても何か一致点を見出せるような気になってきます。懇親会などもやりながら、ギスギスしがちな政党同士の表の協議ではできない本音の意見交換の場にしてまいります。